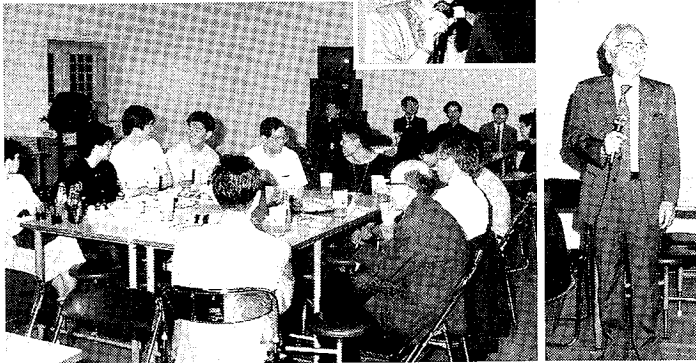


梧桐会総会開催!!

5月12日(日) 母の日 PM1:00~ 於大崎高校



昨年の総会風景



日時 5月12日(日) 12時30分(受付開始) 1時~4時
 会費 500円(新卒者は無料)
 プログラム
 会長の挨拶
 学校長の挨拶
 会計報告

今年も母の日は近づいてまいりました。梧桐会総会の日です。私たちの母校大崎高校も、今年で創立八十周年を迎えます。道路問題等、様々な問題を抱えている昨今、学校とその周辺は、年々変わりつつあります。今年もまた、十名を超す教職員の方々が退職・転任されました。恩師との再会はもちろん、旧友との再会の場となるのが総会です。思わぬ出会いがあるかも知れませんよ。

今年も母の日は
梧桐会総会へ!



第38号
 平成3年4月1日発行
 発行所 梧桐会
 東京都品川区豊町2-1-7
 電話(3786) 3355-6
 都立大崎高等学校内
 編集人 彦男 良治 印刷 波部 千正

80周年記念行事 同窓会からお願い

大崎高校は今年で創立八十周年を迎えました。十一月三十日には、八十周年記念式典が挙行されます。このため梧桐会では、学校へ記念品を贈りたいと思っております。そのための基金として皆様方に寄付をお願いしたいと思います。母校のためになることですので、よろしくお願いいたします。一口五百円として、次の方法でお送り下さい。同窓会の当日も受け付けております。

郵便振替
 東京三十四六九九一
 東京都立大崎高等学校

またその一環として同窓会の当日、大崎高校の校舎等をデザインしたテレホンカードを販売しますので、ご協力をお願いいたします。

平成二年度における道路問題の経過報告

道路対策委員 辻 忠則

現在の都補助二十六号線の工事の進行具合から、対策委員としては、残念ながら本校の教育環境を守る立場を堅持し、かつ校舎の全面改築等に、道路を通過させるという条件闘争に変更せざるを得ない現状となったことを認めざるを得ない。そして早急に必要な校舎及び諸施設の設置を望む。

計プランとその配置を各関係機関に働きかけねばならないと考え、昨年度の学年末の職員会議において、教職員の意思統一や喚起を促すために、道路対策委員より要望書を提案しました。

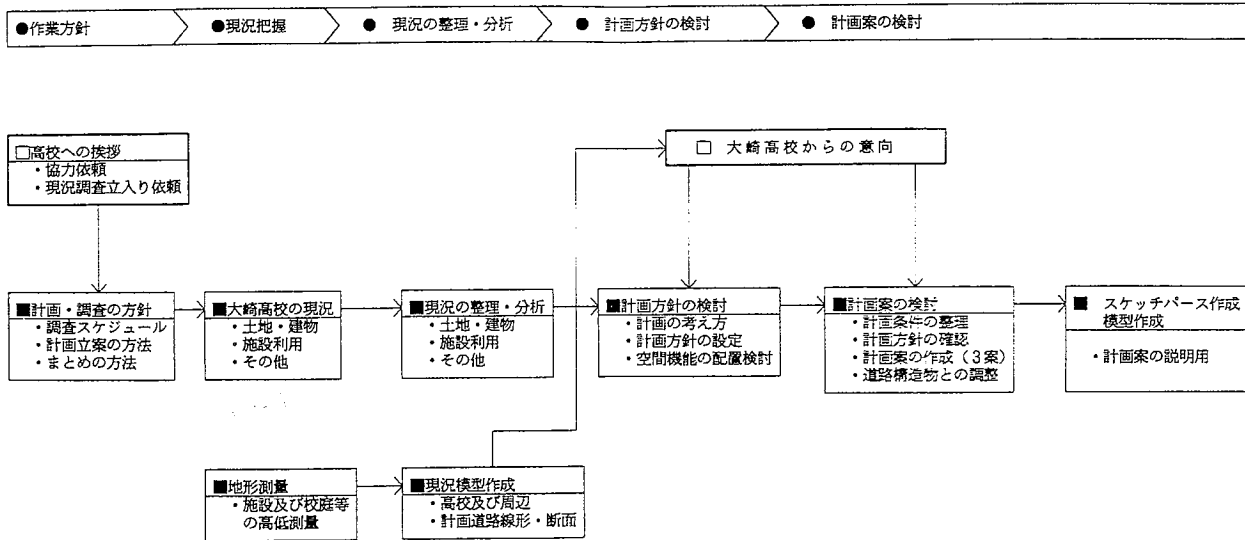
基本的要望として、①道路の通過により、本校の学校としての教育機能、施設・環境が損なわれないこと、②道路に敷地を取られ、かつ現正門付近からのトンネル方式で貫通させる以上、校舎及び諸施設の高層化をはかること、③管理安全面、スペース面で、収容できる生徒数及びクラス数を考え、将来に適切な数値に是正すること、個別の要望として、校舎等について三、校庭について二、騒音対策、排気対策、振動対策、渋滞対策、安全対策について要望書を提出しました。その後、六月八日、本校会議室にて、建設局(七名)、教育庁施設部担当者(二名)、本校より校長、教頭、事務長が参加し、話し合いがもたれ、建設局の基本的考え方について意見交換し、今後の進め方について話し合われました(道路対策委員は欠席。これを受けて、十一月五日、品川区役所において、都教育庁施設部(三名)、都建設局(九名)、本校(五名)、コンサルタント会社(三名)よりなる

(仮称)大崎高校整備検討会が発足し、本校通過計画道路模型(縮尺二百五十分の一)を見ながらの質疑応答がなされ、今後は定期的に会合を持つこと、意見や要望を吸収していくこと、また、本校内に検討部会(作業部会)の発足の要求が建設局より提案されましたが、体制作りが先決と考え、即答を避けた次第であります。このように二十六号線工事には本校敷地内の工事着手がなされなければ、今後の道路計画や用地買収などが進展していかない現状であると確信しました。道路対策委員としては、これまでの多大なPTA関係者、同窓会関係者の方々からご支援をいただきながら力量不足のため、皆様の期待にそむく経過報告となつてしまったことを紙面をお借りしてお詫びし、反省しております。今後は、逐次、情報提供し、皆様のご意見や要望も吸い上げ、関係各方面へ本校の教育環境を良くするよう協力をお願い申し上げます。

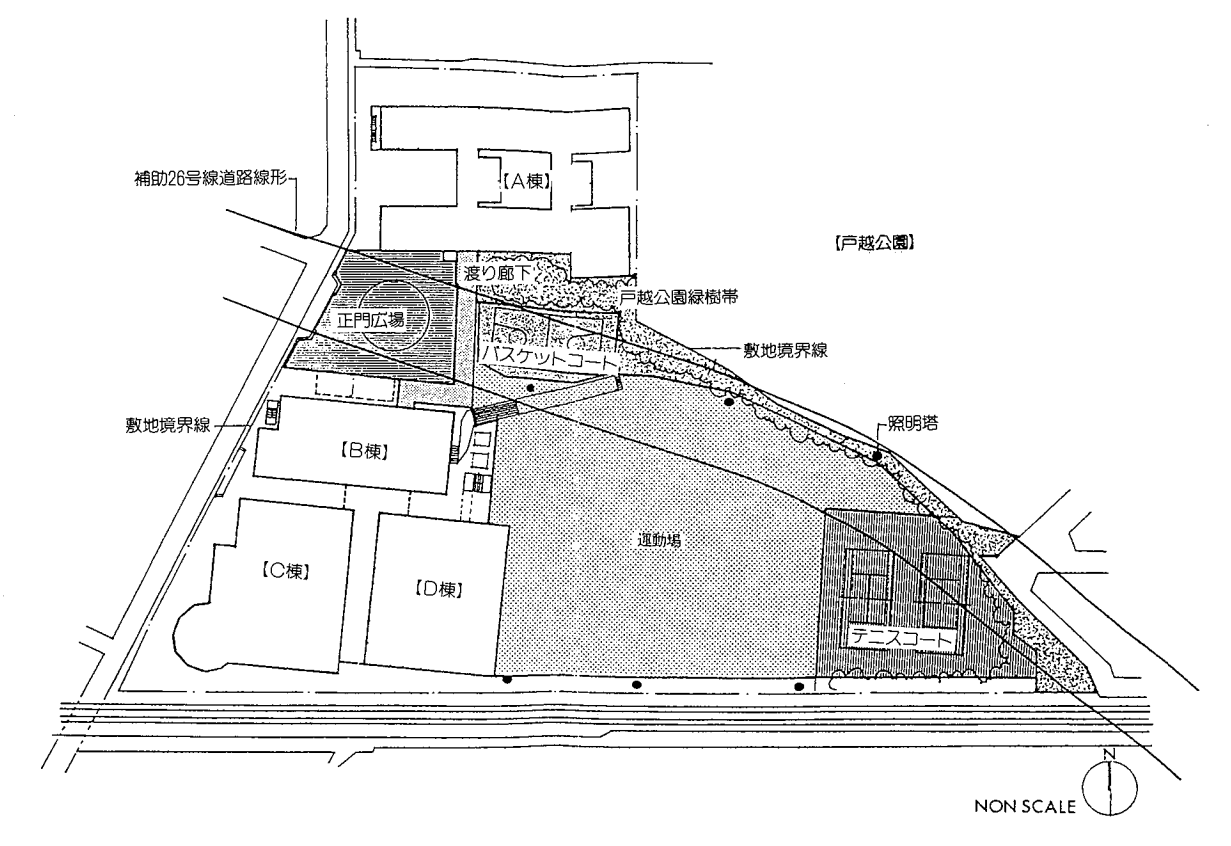
(仮称)大崎高校整備検討会資料

平成2年11月5日

大崎高校改造計画調査作業フロー



影響施設区分図



校庭の樹木の緑もひととき色鮮やかに... 補習学校として発足した...

創立八十周年を迎えて

大崎高校の飛躍を期す



校長 掛川 久

整備・充実を目指して、望ましい校舎及び諸施設の設計を慎重に検討するとともに、その実現に向けて、関係各方面の理解を得るべく、努力してまいり所存です。

お蔭をもちまして、本校も今年で創立八十周年を迎え、十一月には記念式典を挙げることにいたしました。

なかに、特筆すべきことは、道補助26号線の現敷地内通過に係る問題であります。

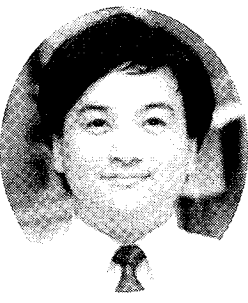
職員だより



職員だより

創立八十周年を迎えるに当り、改めて本校の歩みを振り返り、先人の業績を体しながら、新しい大崎高等学校の発展を期すべく努めてまいり所存です。

今の学校について



現職員 小野寺 一

卒業生の皆さんお元気ですか？ 又、退職、異動をなさった先生方、お元気ですか？

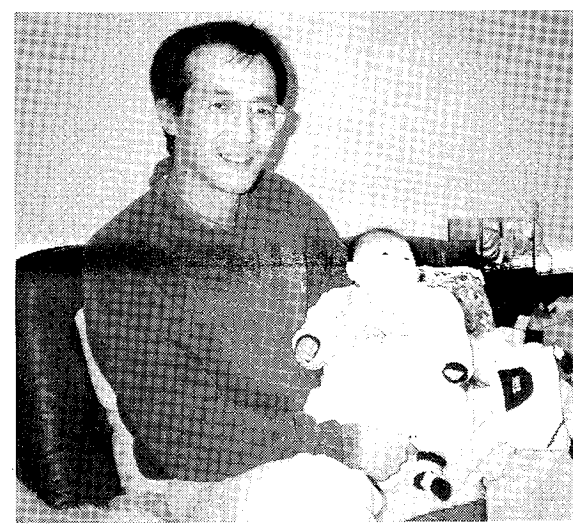
卒業生は、三年になってから理科室・文化系に分かれましたが、今年の三年生は、二年より理科室・文化系と別になった学年で、どのような結果が出るのか楽しみです。

皆様お元気ですか

旧職員 鈴木由喜男

昭和五十一年から六十年までの九年間、大崎高校で世話になりました。その後、都立篠崎高校、そして一昨年、都立東高校に異動しました。

経験する修学旅行。いまでは、修学旅行という少し気が重くなるかもしれませんが、あの頃は気楽なもので、(その分、他の先生方にご迷惑をおかけしました) 当時、大崎高校では、修学旅行は実施しないという事が、色々な議論の末、職員会...



の生徒が一人東京駅の出発時に間に合わなかったという、その夜のある出来事を語りかけたばらにはあるのが当然だと思っていました。驚いたもので、今では、できたら無い方がいいなと思っていますが、

のさびやかさに感心したあと、それはまたまた変わった山あいの田圃の畦道の中、自然に親しみ、ワライムなどのニックネームのついた石仏に時の流れを感じながら、のんびりと岩船寺までの二時間を四十七人で歩きました。

卒業生は、三年になってから理科室・文化系に分かれましたが、今年の三年生は、二年より理科室・文化系と別になった学年で、どのような結果が出るのか楽しみです。

等へ入学出来たら、それはすばらしいことですが、現実を考えると「それ程間は甘くない」ということをはつきりと認識して卒業していくことになり。毎年繰り返されていることですが、今年の三年生は、全国的に一番生徒数が多く、その上、浪人している受験生も加わり、入試はものすごい激戦になることが...

Table with 2 columns: Position (e.g., 着任, 退職) and Name (e.g., 大野仁士, 伊藤 晃).

Table with 2 columns: Name (e.g., 高橋良信, 中村 徹) and School/Year (e.g., 都立大付属高校, 平成三年).

Table with 2 columns: Position (e.g., 役員氏名) and Name (e.g., 会長 千葉 治男).

金買だより

地球にやさしい暮らしができれば

大和久るり子 (栗山) (43年度卒)

昨年三月二日、私たちは結婚以来住みなれた埼玉県新座市をあとにして、岩手県の江刺市に引越してきました。新天地の東には、あの宮沢賢二が多くの詩をよんだ種山高原、民話のふる里、遠野、西の方は北上川、そしてその背後には奥羽山脈の白い峰々が連なっています。

このように豊かな自然に囲まれて……。というのが親光のうたい文句ですが、都会育ちの四〇代の人間が突然自然の中で実際に生活するのはなれないことばかりで大変なことです。

皆さんは、岩手県と聞けば

ただ辺りな土地と想っているでしょう、でも立派に整備された道路、車さえあれば都会の便利な生活とは比較になりませんが、それなりの生活ができます。

春一番の砂嵐、真夏の熱帯夜、車公害、大気汚染などの心配がないのがなによりです。脱サラ、脱都会、田舎暮らし、絵にかいたようですが、農業離れのな時代の流れに逆らって百姓の道をえらびました。

自然循環型自給農業をめざした一年、あつという間に過ぎてしまいました。

昨年は、自家用野菜と米作り、もちろん有機栽培、無農薬です。

こちらに引越して来たのも安全で美味しいものを食べたという願いがあったからです。

そして、生計の一部にと平飼いの鶏を二〇羽飼っています。

薬剤を一切使用しない自然卵として、少しづつですが近隣地域や東京などで販売をしています。

よろしかったらどうぞ。またたたくの親戚や知り合いも無くやってきましたが、同じような仲間に出合ったり、結構一年で知り合いも増えています。

「トライアスロン・ジャパンカップ・イン佐渡」

岡野 仁志 (61年度卒)

人間が極限状況のなかで、もうひとりの自分と闘いながら、ただひたすら孤独なレースに体力と精神力を磨ける。僕が去年はじめて実感したこの体験は、沿道、エイドステーション、ゴールで声援をおくってくれる島の人たち、そして鍛えぬかれた一、三〇〇人のトライアスリストの生

一人の人間が、水泳、自転車、マラソンを連続しておこなうスポーツ、トライアスロン。全国各地でいろいろな大会が開催され、なかでも、水泳三・九km、自転車一八四km、

力走中の私



マラソン四二・一九五kmという競技内容の過酷さから「鉄人レース」とまでいわれる佐渡ヶ島の大会。

(本当にこんな長い距離を走りつづけることが、僕にできるのだろうか?) 多くの期待といくつもの不安をかえながら、大会参加を決意した初めての鉄人レース出場でした。しかし、大会実行委員をこえるボランティアの奉仕活動と応援、そして、夜になっても待っていてくれる島の人々に支えられ、なんとか完走することが出来ました。

この大会は僕にとって、また参加した全てのトライアスリストにとっても一生忘れられない思い出になったと思います。



長男・元太郎(6歳)と幼稚園の卒園式に向かう私

毎日忙しく、また楽しく暮らしています。

大崎同窓の方でも私達のような考えをおもちの方もいるでしょう。

なにか力になれることがあってもいいかもしれません、どうぞご連絡下さい。

写真は、長男の元太郎六歳と私が幼稚園の卒園式に向かう前に撮ったものです。

卒業して二十年

中澤 初江 (小松本) (45年度卒)

私が大崎を卒業してから、もう二十年になります。卒業と同時に、それまで任んでいた大田区内から横浜戸塚へと引越してしまつたため、大崎の様子、送られてくる会報や友達からの話で時折聞くくらいでした。だから、現在の大崎高校の様子やどんな先生がいらっしゃるのかも、皆目が見当たらず、それどころか、

私が三年の時の担任であった平田先生が、まだお元気でしたらつしやると聞きました。その平田先生も来年あたり退職されるのか……本日に月日のたつのは早いものです。

二十年たった今でも私が在学していた当時の大崎の様子、鮮やかに思い出すことができます。もちろん校舎も現在のようなモダンな鉄筋コン

言葉を思い出します。そして一年の時の担任だった社会の岡崎先生、黒板に字を書いた時にチョークをよく折っていたっけ……。二年の時の担任は、英語の渡辺啓助先生……。渡辺先生は、二三年前からいまでいらしたと聞きましたので、きっと知っている方もたくさんいるのではないのでしょうか。まだまだ、教えあげれば、たくさんいらつしやいました。

私達も、当時教えてくださった先生方と同じ年代となり、子供をもち親の立場になって

「足の内へまめめむび場めぐり」

梧桐会探検隊のおすすめする

「東京セサミプレイス」

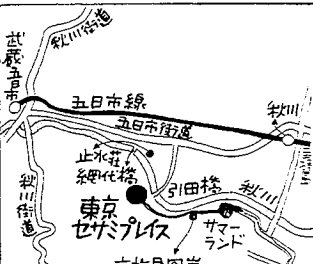
中央高速八王子ICから車で約二十分、昨年の十月十日オープンした東京セサミプレイスは、お子様連れのお父さん・お母さん達にとって絶好の遊び場です。NHK教育テレビ「セサミストリート」のゆかいなキャラクターたちが待ちわびており、また、テーマ分はされた各種のプレイス・エレメントと呼ばれる遊具を使って、大人も一緒に一日中、目一杯楽しめるのがこの大きな特徴です。また、ここにある施設は、頭を使

ば使うほど、より多く楽しめるかも、安全性を考慮してデザインされたというものがばかりです。

その他、セサミストリートの人気キャラクターによるショー、更にもう一つ、プレイリーダーという遊びのアドバイザーが、子供達の遊びが安全に行われるように監視し補助してくれます。

そして一日中遊んだ最後には、真つ赤な夕日に照らされた奥多摩の自然を、大パノラマで見られるというのも一つの楽しみですね。

お父さん、お母さん、お子様と一緒に一度足を運んで見てはいかがでしょうか……。



●場所 東京都西多摩郡五日市町網代四〇三

●営業時間 平日十時～十六時
日・祝日九時～十六時
※水曜日休み

●入園料 三十二歳以下、一六〇円、十三歳以上二、一〇〇円(子供料金の方が高いです。念のため)

「フォトンベース」

(ヘルメットをかぶり、パワースティックやコントロールボタンを装着して、光線銃フェザードガンを手にはすればカウントダウンを持つだけ。十kgにおよぶユニットを身につけての戦闘は知的でハード。赤と緑の二チームに分かれ、何やらあやしい雰囲気さえたまたよわせている。薄暗いゲームフィールドで相手のヘルメットか心臓部を狙い撃つて点数を競い合うゲームです。

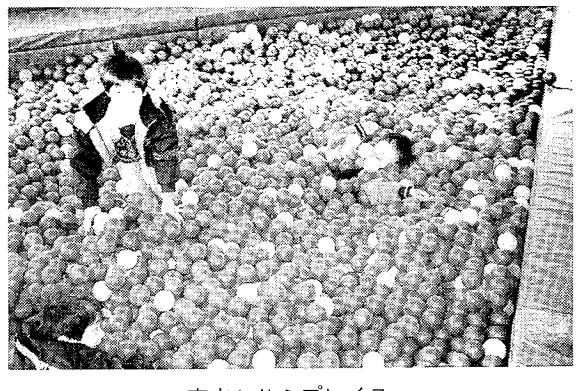
六分三十秒の限られた時間の中で繰り広げられるドラマは、未来感がいっぱいです。戦いのワンダーランド、フォトンアルファスペース、ぜひ一度行ってみたい……。

●場所 東京都町田市鶴間六七七一

●TEL 〇四二七一九九一三四六六

●入園バスポート 二、一〇〇円(一回券 七五〇円(回数券あり))

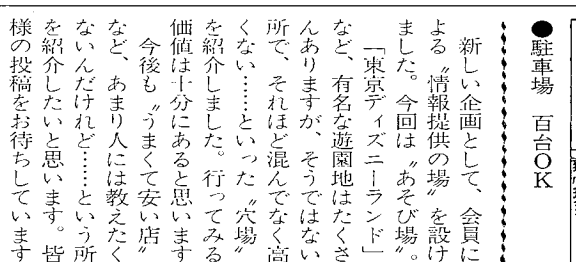
●営業時間 十三時～二十時(土・日・祝日は十二時～三時)無休



東京セサミプレイス



新しい企画として、会員による「情報提供の場」を設けました。今回は「あそび場」。「東京デイズニランド」など、有名な遊園地はたくさんありますが、そうではない所で、それほど混んでなく高くない……といった「穴場」を紹介しました。行ってみる価値は十分にあると思います。今後も、うまくて安い店など、あまり人には教えたくないんだけど……という所を紹介したいと思っています。皆様の投稿をお待ちしています。



●駐車場 百台OK

米女優らの髪飾り NYを舞台に活躍

須賀 勇介氏(すが・ゆうすけ)「ヘアデザイナー」十四日午後五時、直腸がんのため東京都中央区の国立がんセンターで死去、四十八歳(中略)自宅はニューヨーク。

二十代に渡米し、ニューヨークで美容院を開業。顧客にはジャクリーヌ・オナシスさんら社交界の著名女優や、キヤンディス・バーゲン、フェイ・ダンナウェイら女優も多くファッション雑誌「VOGUE」(ボーク)で表紙モデルの髪も担当した。

日本では、テレビのCMに登場し、「バージンヘア(まじまじ)」というキャッチフレーズをはやらせた。

(朝日新聞平成二年九月十五日付朝刊より)

今は亡き須賀勇介へ 思い出をありがとう

小高 祥弘(34年度卒)



クリスマスカードで壁に造ったツリーの前で(昭和41年12月)

……しかし彼は限られた狭い人脈の中でしか動けない日本の美容界の限界を語り、もともと自由な中で自身の可能性と技術を追求したいのだと熱く語りつづけた。長い話し合いの末、結局私は賛成し激励させていた。

昭和四十一年の初秋、勇介は単身ニューヨークへ旅立った。私と彼はその前に一つ一つの約束をした。一年後に私が必ず彼の所を訪ねる事と、彼はその時迄にちゃんとした生活が出来ている事。

昭和四十一年の八月末、約束を守るべく私は単身ロサンゼルスへ渡った。そこで運転免許を取り中古のムスタングを買って九月末、いよいよニューヨークの勇介を目ざした。あちへ寄りこちへ廻り一万二千キロを走ってア

昭和四十一年の十月末、もろコートがほしくらいのニューヨークのアパートに勇介を訪ねた時、そこには高校時代からずっと交わる事のなかった人なつこい笑顔があった。高校卒業後彼が山野美容学校を卒業し、その後才能を見込まれて山野美容室のチーフ店をまかされていた頃もよく逢っていた。二年近くたつたある日、彼は店をやめてアメリカへ渡るといふ。まだ自由が難しく、丁度今の日本に東南アジアの人達があふれているように、アメリカには不法滞在の日本の若者があふれて社会問題化していた。外貨の持出しも五百ドル以内という時代であった。私は即座に反対した。他の同世代の者から見たら恵まれている処遇を捨ててまで行く事はない



ニューヨークのアパートで、左から勇介、私、勇介のルームメイト、勇介の友人

勇介が内心から喜んでくれていたのが手に取るように伝わってきた。部屋はツーベットのルームメイトと共同で借りていた。その夜は一年間のブランクを埋めるかのように話したがはずんだ。たった一年で会話も驚くほど上達していたが、何よりもびっくりしたのはニューヨークでも一、二を争うケネス美容院に勤め、しかも指名して来る客がジャクリン・ケネディであったり、有名な女優達であったり、私はポカンとして聞いていた。彼は自分の幸運を語り、必ず永住権を取るのだと言った。その時もう彼の唯の夢物語には聞こえなかった。次の日、私をケネス美容院へ連れて行く紹介してくれている彼は自信と誇りに満ち、友人として実に頼もしく見えた。私はそれから半月間そこに世話になり、ケンブリッジに部屋を見つけた。そして移る日はお世辞にも言ってくれた。少し寂しくね……と。

私がアメリカを去る翌昭和四十二年五月の中旬、勇介への別れの挨拶をしに立寄った時、彼は次に移りたい目標のマンションの前へ私を案内した。ニューヨークでも一等地にある素晴らしいマンションであった。その日、私は彼に車をオランダのロッテルダムへ送ってくれるよう頼み別れた。そして送ってもらった車を受け取り、二月月ヨーロッパに滞在して日本へ戻った。彼からそのマンションへの入居通知をもらったのは、それからすぐの事だっと思つた。

勇介は自分の目標に向って着実に歩き一つ一つ実現して行った。あの小さな体のどこにそんなエネルギーがあったのだろうか。ニューヨークで店を持ち、アメリカでの評判をバックに日本でもチェーン展開している最中の突然の訃報であった。働き盛りのこれからの男の死であった。しかし私は思う。勇介は四十八歳という短い人生を完全燃焼させて、自分の思うように、そして信ずる通りに生きてきた男だと。あの笑顔をも二度と見

「わがふるさと」

須賀勇介さん(34年度卒)

外国では美容の仕事、明るいアイカへ、という若さで亡くなった。ヘアデザイナーとして有名須賀さんを、本紙では一年前の第二十七号でインタビューをしています。田口先生と肩を組んで写真に納まっている光景が印象的です。このインタビューの中に出てくる同級生の小高祥弘さんに追悼文をお願いしました。

ヘアデザイナーとして活躍中

須賀勇介さん(34年度卒)

「わがふるさと」

須賀勇介さん(34年度卒)

「わがふるさと」

須賀勇介さん(34年度卒)

平成二年度卒業生 進路状況

(四月十二日現在)

進学	短期大学	四年制大学計四十二
四年制大学	都立医療技術	東京女子大学
二 桜美林	青山学院	東京成徳
二 共立女子	浦和	東京女子体育
二 国立音楽	大妻女子	東洋女子
三 国士館	嘉悦女子	東京電大
二 淑徳	神奈川	東京立正女子
一 清泉女子	関東学院女子	東横学園女子
一 創価	川口	トキワ松学園
一 拓殖	一 国学院	日本基督教
一 千葉工業	二 相模女子	一 富士
一 東海	一 湘南	三 文教
一 東京国際	一 聖徳	短期大学計七十二
一 東京芸	一 湘南	専修・各種学校計一〇四
一 独協	一 創価女子	
一 日本文化	一 帝京女子	
一 法政	一 帝京女子	
一 明星	一 帝京女子	
	一 帝京女子	

会計報告

収入	2年度予算	2年度決算	3年度予算
雑収入	150,027	150,027	40,697
会費	1,875,000	1,875,000	1,875,000
金庫	200,000	126,000	200,000
合計	2,225,027	2,151,027	2,115,697
支出	450,000	427,320	450,000
総会費	1,200,000	1,250,010	1,200,000
雑費	150,000	75,000	100,000
印刷費	180,000	180,000	150,000
雑費	30,000	10,000	30,000
雑費	170,000	168,000	150,000
雑費	45,027	0	35,697
合計	2,225,027	2,110,330	2,115,697

後記

今年も早い桜の開花でしたが、会報の編集はもたつきませんでした。なんとか例年通りの発行となりました。今年も本業が忙しく、やっとな月下旬に会報編集委員会を行い、各自の分担を決めて原稿依頼をしました。実を言うと私はほとんどやっていません。四月に入って慌てて学校へ走ったりして、四月十七日、ようやく最終原稿が入りました。◇会員よりは、今回は特に特集を組みませんでした。しかし、凄く人間がいるのです。大崎の卒業生にも、私にできるのは自転車くらいかな？ 一八四km? 十八・四kmじゃないのか。ムリだね。◇須賀勇介さん。新聞の訃報欄に写真入りでトップに出ていました。びっくりしてしまいました。思わずエーッと声を叫びました。改めて古い会報を出してみました。田口先生と肩を組み、笑顔で写真に写っていました。どちらにももう会えないのです。その記事の中に、小高さんのことが出ていましたので、諸般の事情(実は原稿を依頼するのを忘れていた)で四月に入ってから追悼文をお願いしました。日数もなく、無理を聞いていただきありがとうございます。古い写真も探していただきました。

◇本号の職員よりは、比較的最近の先生方に偏ってしまいました。それには、知らない先生方へ行く、知らない先生方へ行く、何だか違うところへ行つたような感じがする。でも学校へ行つてほしい。その日は、同窓会の総会の日です。知っている先生方が、多数いらっしゃいます。だから皆さんも、総会の日には学校へ行きましょう。(なへ)

昭和五十五年発行 梧桐会報第27号第三面

平成三年四月三日